

第2章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

平成 29 年 10 月 1 日現在の病院数は 51 施設（精神科病院 8 施設、一般病院 43 施設）で、前年と同数であった。一般診療所は 721 施設で、前年に比べ 4 施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が 1 施設、無床が 3 施設減少した。歯科診療所は 271 施設で、前年に比べ 2 施設減少した（表 3-1）。

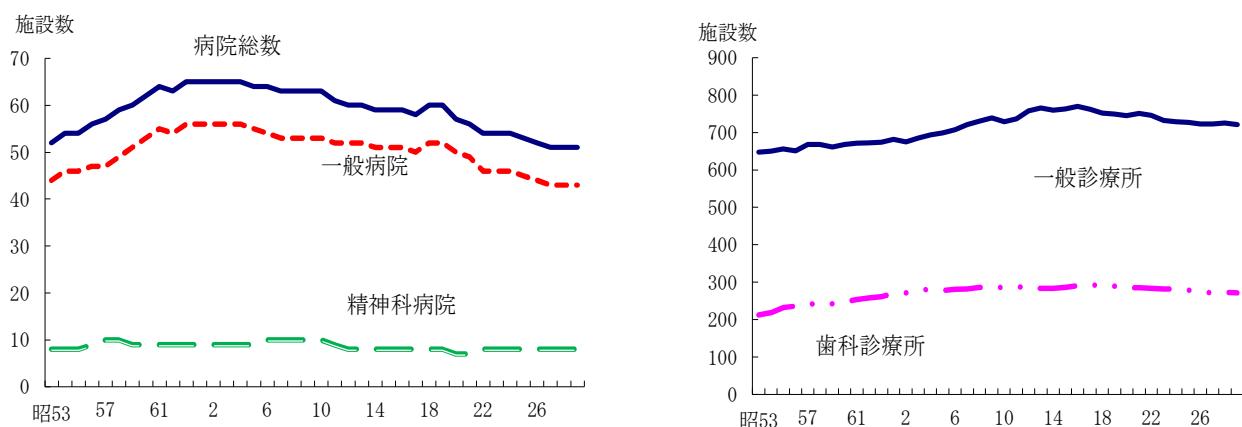
表 3-1 医療施設の種類別にみた施設数

	施 設 数			構成割合 (%)	
	平成29年	平成28年	増減数	平成29年	平成28年
総数	1,043	1,049	△ 6	100.0	100.0
病院	51	51	-	4.9 (100.0)	4.9 (100.0)
精神科病院	8	8	-	(15.7)	(15.7)
結核療養所	-	-	•	(-)	(-)
一般病院	43	43	-	(84.3)	(84.3)
一般診療所	721	725	△ 4	69.1 (100.0)	69.1 (100.0)
有 床	42	43	△ 1	(5.8)	(5.9)
無 床	679	682	△ 3	(94.2)	(94.1)
歯科診療所	271	273	△ 2	26.0	26.0

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を 100 とした場合の構成割合である。

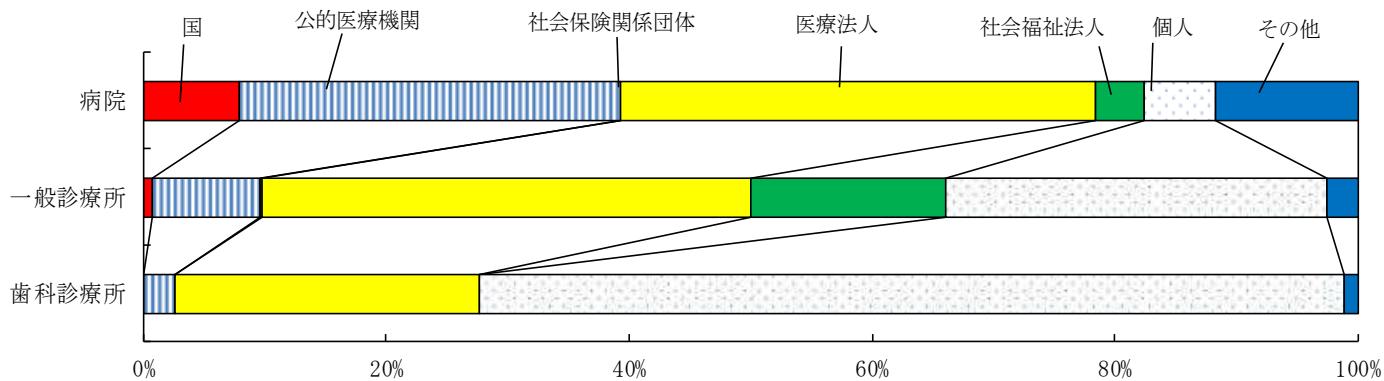
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和 61 年までは年々増加していたが、昭和 63 年から平成 4 年の 65 施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は 7 ~ 10 施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成 16 年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成 17 年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成 18 年をピークに減少に転じている（図 3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多のが医療法人の 39.2%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の 31.4%である。一般診療所は平成 10 年には個人が 5 割、医療法人が 3 割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成 20 年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成 29 年の状況は、医療法人が 40.4%、個人が 31.5%である。歯科診療所は大部分が個人で、71.2%を占めており、ついで医療法人が 25.1%となっている（図 3-2）。

図 3-2 医療施設の開設者割合 (%)



人口 10 万対施設数を前年と比べると、一般診療所が 0.2 増加した。全国と比べると、病院は 0.8、一般診療所は 25.2 高く、歯科診療所は 14.5 低くなっている（表 3-2）。

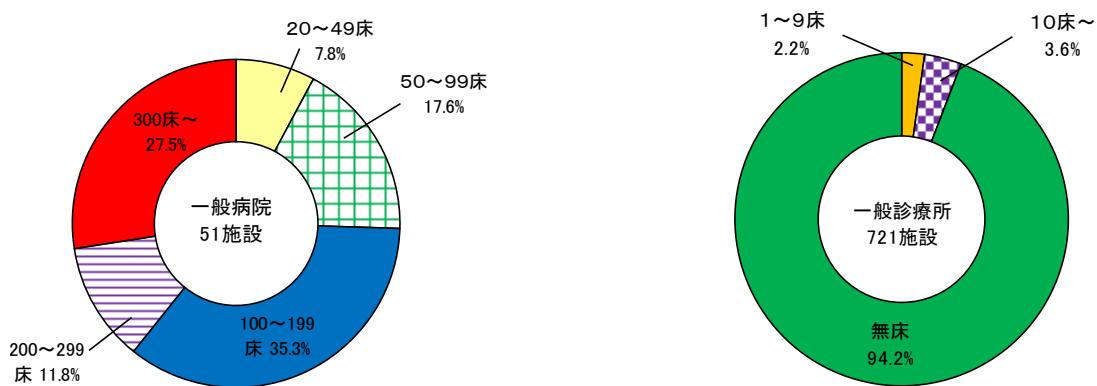
表 3-2 人口 10 万対医療施設数

	島根県		全国
	平成29年	平成28年	平成29年
病院	7.4	7.4	6.6
一般診療所	105.3	105.1	80.1
歯科診療所	39.6	39.6	54.1

一般病院を病床規模別にみると、20～49 床が 7.8%、50～99 床が 17.6%、100～199 床が 35.3%、200～299 床が 11.8%、300 床以上が 27.5%であった。

一般診療所は 1～9 床が 2.2%、10 床以上が 3.6%、残りの 94.2%は無床である（図 3-3）。

図 3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

平成 29 年 10 月 1 日現在の病院の病床数は前年に比べ 114 床減少した。病床の種別にみると、精神病床が 18 床、療養病床が 10 床、一般病床が 67 床それぞれ減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から 19 床減少した（表 3-3）。

表 3-3 医療施設の種類別にみた病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	平成29年	平成28年	増減数	平成29年	平成28年
総 数	11,039	11,153	△ 114	100	100
病 院	10,557	10,652	△ 95	95.6 (100.0)	95.5 (100.0)
精神病床	2,277	2,295	△ 18	(21.6)	(21.5)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	16	16	-	(0.2)	(0.2)
療養病床	2,102	2,112	△ 10	(19.9)	(19.8)
一般病床	6,132	6,199	△ 67	(58.1)	(58.2)
一般診療所	482	501	△ 19	4.4	4.5
歯科診療所	-	-	•	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を 100 とした場合の構成割合である。

人口 10 万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が 0.2、一般病床が 3.2 減少し、療養病床が 0.8 増加した。

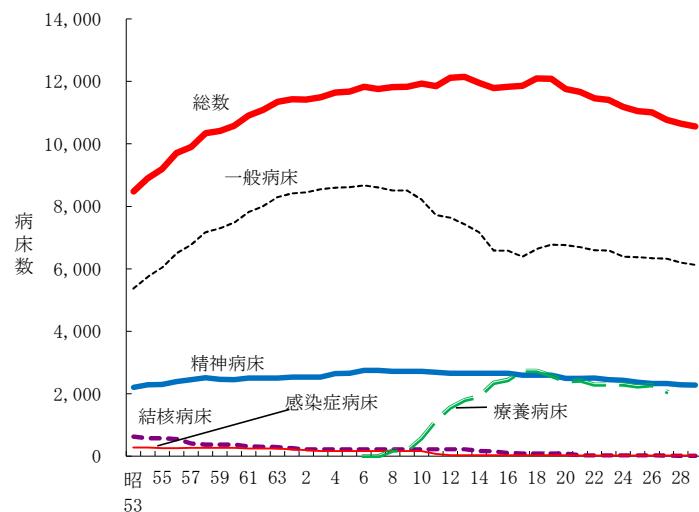
また、一般診療所は前年より 2.2 減少した。病院における人口 10 万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表 3-4）。

表 3-4 人口 10 万対病床数

	島根県		全国
	平成29年	平成28年	平成29年
病 院	1,541.2	1,543.8	1,227.2
精神病床	332.4	332.6	261.8
感染症病床	4.4	4.3	1.5
結核病床	2.3	2.3	4.1
療養病床	306.9	306.1	256.7
一般病床	895.2	898.4	703.1
一般診療所	70.4	72.6	77.6

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成 18 年をピークに減少に転じた。一般病床は平成 10 年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方、療養病床は平成 8 年以降、年々増加していたが、平成 18 年の 2,740 床をピークに減少している（図 3-4）

図3-4 病床の種別にみた病院の病床数



注 1：）「一般病床」は、昭和 62 年～平成 4 年は「その他の病床」、平成 6 年～平成 12 年は「その他の病床（療養型病床群）をのぞく」、平成 13・14 年は「一般病床」及び経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床をのぞく）である。

注 2：）「療養型病床」は、平成 12 年までは「療養病床群であり、平成 13・14 年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

4 利用状況

平成 29 年の 1 日平均在院患者数は 8,503 であり、前年から 43 減少した。うち、精神科病院は 10 人、一般病院は 34 人減少した。1 日平均新入院患者数は 293 人で、前年から 2 人増加した。1 日平均退院患者数は 293 人で、前年から 1 人増加した。1 日平均外来患者数は 7,341 人で、前年から 76 人増加した（表 3-6）。

表 3-6 病院・病床の種類別にみた 1 日平均在院・新入院・退院・外来患者数

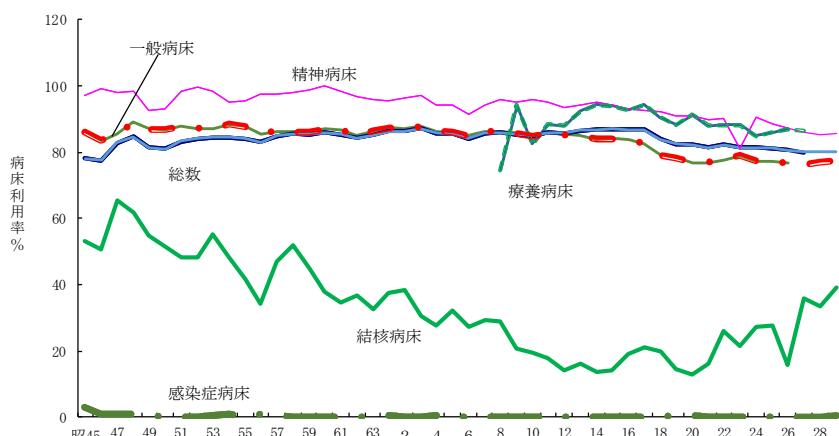
	1 日平均在院患者数			1 日平均新入院患者数		
	平成29年	平成28年	増減数	平成29年	平成28年	増減数
病院総数	8,503	8,546	△ 43	293	291	2
精神科病院	1,503	1,513	△ 10	5	5	-
一般病院	7,000	7,034	△ 34	288	287	1
病床総数	8,503	8,546	△ 43	293	291	2
精神病床	1,962	1,972	△ 10	8	8	-
感染症病床	-	-	•	-	-	•
結核病床	6	6	-	-	-	•
療養病床	1,759	1,774	△ 15	9	9	-
一般病床	4,776	4,795	△ 19	276	274	2

	1 日平均退院患者数			1 日平均外来患者数		
	平成29年	平成28年	増減数	平成29年	平成28年	増減数
病院総数	293	292	1	7,341	7,265	76
精神科病院	5	5	-	387	379	8
一般病院	288	287	1	6,954	6,886	68
病床総数	293	292	1	•	•	•
精神病床	8	8	-	•	•	•
感染症病床	-	-	•	•	•	•
結核病床	-	-	•	•	•	•
療養病床	13	12	1	•	•	•
一般病床	272	271	1	•	•	•

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成 29 年の病院の病床利用率は、総数が 80.1%、精神病床が 85.7%、療養病床が 83.6%、一般病床が 77.4%、結核病床が 39.0%、感染症病床が 0.4% であった。（図 3-5）

図 3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移



3 診療科目

県内 51 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 47 施設で、ついで整形外科が 35 施設、外科が 32 施設となっている。平成 28 年と比べると腎臓内科等 10 診療科目が増加し、内科等 4 診療科目が減少した。

一般診療所 725 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 561 施設であり、ついで小児科が 156 施設、消化器内科（胃腸内科）が 134 施設、循環器内科が 99 施設となっている。平成 28 年と比べると、内科等 18 診療科目が増加し、内科等 7 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病院			一般診療所		
	平成29年	平成28年	増減数	平成29年	平成28年	増減数
内科	47	48	△ 1	561	554	7
呼吸器内科	17	17	-	46	40	6
循環器内科	24	24	-	99	90	9
消化器内科 (胃腸内科)	21	21	-	134	132	2
腎臓内科	8	7	1	3	2	1
神経内科	31	32	△ 1	34	27	7
糖尿病内科 (代謝内科)	7	6	1	15	11	4
血液内科	4	4	-	4	-	4
皮膚科	23	22	1	51	52	△ 1
アレルギー科	2	2	-	36	33	3
リウマチ科	3	3	-	23	20	3
感染症内科	-	-	•	2	-	2
小児科	26	26	-	156	164	△ 8
精神科	24	24	-	55	51	4
心療内科	6	6	-	36	31	5
外科	32	33	△ 1	65	65	-
呼吸器外科	8	8	-	-	-	-
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	1	-	1
乳腺外科	5	2	3	2	2	-
気管食道外科	-	-	•	-	-	-
消化器外科 (胃腸外科)	3	1	2	3	3	-
泌尿器科	21	21	-	20	21	△ 1
肛門外科	4	4	-	15	16	△ 1
脳神経外科	15	15	-	11	10	1
整形外科	35	35	-	62	60	2
形成外科	7	8	△ 1	8	7	1
美容外科	-	-	•	2	2	-
眼科	21	21	-	52	50	2
耳鼻いんこう科	22	22	-	29	29	-
小児外科	3	2	1	2	2	-
産婦人科	16	16	-	17	17	-
産科	1	1	-	1	2	△ 1
婦人科	6	5	1	11	14	△ 3
リハビリテーション科	30	30	-	59	51	8
放射線科	21	20	1	25	21	4
麻酔科	21	21	-	16	11	5
病理診断科	7	7	-	-	-	-
臨床検査科	1	-	1	-	-	-
救急科	3	2	1	-	-	-
歯科	6	6	-	6	7	△ 1
矯正歯科	-	-	•	-	-	-
小児歯科	-	-	•	-	-	-
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	-